

市内でサマースクール開催

福島の子に楽しい夏

寄付やボランティア募集

福島の子どもたちに楽しい夏休みを。福島第1原もたちを川崎に招く「川崎サマースクール」が31日から市内で開かれる。無料で招待するため、主催者は市民や企業などからの寄付、子どもたちの遊び相手となる高校生や大学生らのボランティアを募っている。



サマースクールのスケジュールなどについて話し合う『福島の子どもたちとともに』川崎市民の会』のメンバー

川崎区

かわさき

市内のNPO法人などでつくる「福島の子どもたちとともに」

川崎市民の会」主催。福島市と白河市の小学生が川崎市民プラザ(高津区)に31日から7泊、伊達市に住む親子20組が川崎市青少年の家(宮前区)に8月8日から4泊する。期間中、プールや子ども夢パーク(高津区)での遊び、こどもの国(横浜市青葉区)への遠足などを楽しむほか、川崎市内に住む子どもたちとも交流する。

交通費や滞在費などにかかる予算は約350万円。助成金を申請中だが、大部分は寄付で賄うという。ボランティアの募集は20日まで。

放射能の影響を心配し、福島の子どもたちが外遊びができない状況を知り、「夏休みだからこそ思い切り屋外で遊んでほしい」と企画した。問い合わせはNPO法人ぐらす・かわさき ☎044(922)4917。(鴻谷 創)